



○ 草の根パートナー型

平成25年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ラオス
2. 事業名	ラオス国ルアンブラバン県中山間地域におけるSRI稲作農家の複合農業推進事業
3. 事業の背景と必要性	ルアンブラバン県山間地域の農民はこれまで自給的複合農業を基本として生計を営んできた。しかしながら、2000年以降、急速な経済開発、商品経済化が進んでおり、農民たちはこの時流に合わせて生計を成り立たせていく必要に迫られている。このような状況の中で、農民たちはこの商品経済化の波に立ち向かう力（自ら考え工夫する力、新しい農業技術、商品経済に関する知識、ビジネスに関する交渉力など）をつけていくことが求められている。本事業では「ルアンブラバンSRI」を柱としながら農業収入の増大のための商品農畜産物としての野菜・畜産を組み合わせた「資源活用型の複合農業」を推進して地域農民の所得向上を目指す。
4. プロジェクト目標	対象地域においてSRI稲作農家による「ルアンブラバンSRI」を柱とした複合農業が推進され、農業収益が安定的に向上する。
5. 対象地域	ルアンブラバン県5郡（ナン郡5村、シェンゲン郡4村、ルアンブラバン郡1村、ナムバック郡1村、ゴイ郡1村）合計12村、12灌漑地区。
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	(1) SRI農家数 = 約700戸 (2) 農業普及補助員 = 25人、1村当たり2～3名（稲作担当、畜産担当）
7. 期待されるアウトプット及び活動	<アウトプット> (1) 「ルアンブラバンSRI」が普及する。 (2) 野菜栽培と家畜飼養を組み合わせた複合農業が推進される。 (3) 「ルアンブラバンSRI」を柱とした複合農業の普及体制が強化される。 <活動> (1) モデル農家の展示圃場を通してSRIの比較栽培、モニタリング、技術分析、収量調査を実施し、「ルアンブラバンSRI」技術を確立する。 (2) モデル農家において、商品作物としての野菜栽培の促進、豚・ニワトリの適正技術の導入した飼育を行う。 (3) 郡農業普及補助員およびモデル農家に対する研修、スタディツアーを実施する。
8. 実施期間	2014年2月から2018年11月（4年10カ月）
9. 事業費概算額	33,086千円
10. 事業の実施体制	(1) 事業実施の総責任機関はルアンブラバン県農林局（PAFO）でこれをプロネット21が全面的に支援する。 (2) ルアンブラバン県農林局は「SRI稲作農家の複合農業推進プロジェクト事務所」を設立し、プロネット21の協力を得て、プロジェクトを実施する。 (3) 対象5郡（ルアンブラバン、シェンゲン、ナン、ナムバック、ゴイ）の農林事務所（DAFO）はPAFOの協力の下で、プロジェクト活動を支援する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	プロネット21（特定非営利活動法人）
2. 活動内容	(1) 開発途上国住民の貧困削減を目指した生活改善事業、所得向上事業、環境保全事業をおこなうことによる直接的な支援活動、 (2) 支援活動を通じた日本国および途上国における次代の援助の担い手を育てる人材育成事業、 (3) 国際協力に係るNGO/NPO、研究機関、大学、国際機関等との幅広いネットワーク・支援等を通じた地球的規模の持続可能な発展に寄与することを目指している。